



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東・福上場会社名 リックス株式会社 上場取引所
コード番号 7525 URL https://www.rix.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 安井 卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 (氏名) 大沢 賢司 (TEL) 092-472-7311

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,052	12.4	2,795	19.8	3,149	16.8	2,200	18.9
2023年3月期第3四半期	32,961	10.7	2,332	27.8	2,696	27.6	1,850	28.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,740百万円(26.2%) 2023年3月期第3四半期 2,172百万円(47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	272.12	—
2023年3月期第3四半期	227.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	39,762	23,191	57.2
2023年3月期	37,442	21,684	56.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 22,729百万円 2023年3月期 21,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	85.00	135.00
2024年3月期	—	70.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	78.00	148.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,800	7.9	3,580	7.6	3,950	5.4	2,980	7.8	368.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料9ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	8,640,000株	2023年3月期	8,640,000株
2024年3月期3Q	551,303株	2023年3月期	558,451株
2024年3月期3Q	8,085,448株	2023年3月期3Q	8,143,901株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、個人消費の回復によるサービス産業での需要は一巡し、景気は減速しております。また、世界的な高インフレの継続も影響し、製造業の景況は低迷が続いております。

また、日本経済は、訪日外国人数がコロナ禍前水準に回復するなど、インバウンド需要は継続して回復しております。製造業に関しては海外経済減速の影響を受け設備投資に抑制が見られていましたが、投資機運の高まりにより回復の兆しがみえてきております。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3ヵ年計画「GP2023」に基づく施策に取り組んだ結果、第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高370億52百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益27億95百万円（同19.8%増）、経常利益31億49百万円（同16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億0百万円（同18.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。当社グループは、顧客の属する業界ごとに業績管理を行っており、「鉄鋼」「自動車」「電子・半導体」「ゴム・タイヤ」「工作機械」「高機能材」「環境」及び「紙パルプ」の8業界を報告セグメントとしております。

(鉄鋼業界)

同業界では、世界の動向として、インドをはじめとして粗鋼生産量は高水準で推移し、世界全体として増加傾向にあります。日本の動向としては、回復してきている自動車産業向けについては堅調に推移しておりますが、中国経済の悪化の影響を受け、輸出向け鋼材需要は低迷しております。

当社グループにおきましては、生産比例品だけではなく整備部門への営業活動に注力した結果、海外向け洗浄装置や機械設備自動化、省力遠隔重機案件等の受注等により売上は増加しました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は104億84百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

(自動車業界)

同業界では、世界の動向として、特に中国での新エネルギー車の生産及び輸出が拡大しており、自動車生産は世界全体として増加しております。日本の動向としては、継続していた車載半導体供給不足の影響が解消されてきており、生産回復が進行しました。

当社グループにおきましては、CASE市場で注目されている電池やモーター分野への営業・提案活動に注力した結果、国内及び海外工場の電池製造部門への部材の販売が継続して増加していることや製造工程向けの搬送装置類の販売等が売上増に寄与しました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は75億62百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、世界の動向として、半導体関連の売上は前年同期比で継続して減少しておりましたが、年度末には前年同期比でプラスになるなど、回復が見られました。日本の動向としては、半導体製造装置の売上は前年同期比で減少しておりますが、車載・パワー半導体の製造及び投資については活況を呈しています。

当社グループにおきましては、修理・再生ビジネスに加え、現場・設備・保全部門に対して営業活動に注力した結果、半導体製造装置各種部材の販売が増加したことや新設工場向けに当社オリジナル品である洗浄装置類の販売が増加したこと等により売上は伸長しました。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は50億31百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

同業界では、日本の動向として、車載半導体供給不足の緩和による自動車生産の回復に伴いタイヤ需要にも回復が見られ、特に新車用タイヤの売上に拡大が見られましたが、市販用タイヤに関しては物価高の影響を受けて需要の減少が続いております。

当社グループにおきましては、前期に続き開発案件のフォローや新規案件、設備投資に関する営業活動に注力した結果、当社グループ会社のオリジナル品であるバルブ・タイヤ関連機器の販売が国内外問わず継続して好調であったことや、部品メーカーにおける設備投資案件の受注等により売上が増加しました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は31億9百万円（前年同期比25.6%増）となりました。

（工作機械業界）

同業界では、前年同期に活況であった半導体関連及び自動車関連の反動や中国での景気減速による設備投資の抑制が見られ、国内外問わず受注は減少しました。

当社グループにおきましては、工作機械の5軸化・複合化の要求に対応する用途開発・機器の営業に注力した結果、継続してクーラント装置メーカー向けにポンプ類の販売が増加しましたが、当第3四半期においては低迷が続いている業界の影響を受けた結果となりました。

この結果、工作機械業界向け全体としての売上高は19億9百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

（高機能材業界）

同業界では、需要部門によって差はあるものの、物価高による国内消費の低下が影響し、基礎製品となるエチレンの生産量の減少が継続しております。

当社グループにおきましては、医薬・化粧品分野の開拓に加え、修理・再生ビジネスにも注力した結果、設備トラブルに伴うレンタル商品の受注や装置メーカー向けフィルターの販売等により、売上は伸ばしましたが、前年同期には及びませんでした。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は15億9百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

（環境業界）

同業界では、環境装置関連の受注は製造業向けに増加したものの、他業種を含むトータルでは前年同期に比べ減少しました。

当社グループにおきましては、近年重要視されている環境産業・エネルギー産業への深耕に注力した結果、焼却施設設備における当社グループ会社のオリジナル品を継続して受注したことや、ユーティリティ設備における新設工事案件の受注等が売上増加に貢献しました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は17億68百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

（紙パルプ業界）

同業界では、デジタル化の浸透や物価高騰により国内外問わず紙類の需要が継続して減少しております。

当社グループにおきましては、各社が注力しているバイオマス素材やエネルギー分野を開拓した結果、高圧ポンプの受注や補修部品、工事関係の販売が伸び売上は増加しました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は6億58百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し305億93百万円となりました。これは、主に売上債権が24億54百万円、棚卸資産が7億9百万円それぞれ増加し、一方で、現金及び預金が17億77百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し91億69百万円となりました。これは主に有形固定資産が1億12百万円、無形固定資産が1億16百万円、投資有価証券が5億2百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、397億62百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し151億78百万円となりました。これは、主に仕入債務が7億15百万円、短期借入金が1億48百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し13億92百万円となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%増加し、165億71百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し231億91百万円となりました。これは、主に利益剰余金が9億45百万円、その他有価証券評価差額金が2億96百万円、為替換算調整勘定が1億93百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、主に鉄鋼、自動車、ゴム・タイヤセグメントで売上及びセグメント利益が順調に推移し、電子・半導体、工作機械セグメントの伸びの鈍化をカバーしています。また、電子・半導体セグメントの下期業績において、当初想定していたほど下落しない見通しとなりました。

これらを踏まえ、前回公表時に据え置いた下期分の業績見込みが上振れしたことと、賃上げ促進税制による当社の税額控除見積額を織り込んで、通期の業績予想を上方修正しました。

また、業績予想を上方修正したことに伴い、期末普通配当予想も増配修正しました。

詳細につきましては、2024年2月9日付で公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,695,704	6,918,662
受取手形	749,553	891,985
電子記録債権	3,138,483	4,082,571
売掛金	12,864,241	14,231,827
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	2,512,353	3,129,893
仕掛品	330,072	434,760
原材料及び貯蔵品	268,223	255,841
その他	351,112	548,371
貸倒引当金	△502	△553
流動資産合計	29,009,241	30,593,358
固定資産		
有形固定資産	3,611,611	3,724,438
無形固定資産	365,832	482,086
投資その他の資産		
投資有価証券	3,232,657	3,735,196
その他	1,238,068	1,242,505
貸倒引当金	△15,170	△15,171
投資その他の資産合計	4,455,555	4,962,530
固定資産合計	8,432,998	9,169,055
資産合計	37,442,239	39,762,414
負債の部		
流動負債		
支払手形	653,297	725,113
電子記録債務	5,287,815	6,025,717
買掛金	4,697,885	4,603,445
短期借入金	1,403,428	1,551,968
1年内返済予定の長期借入金	21,600	31,608
未払法人税等	487,447	493,700
賞与引当金	-	492,232
役員賞与引当金	-	117,802
その他	1,845,751	1,136,666
流動負債合計	14,397,226	15,178,255
固定負債		
長期借入金	248,800	235,086
役員退職慰労引当金	86,460	76,590
退職給付に係る負債	673,742	675,817
その他	351,395	405,258
固定負債合計	1,360,397	1,392,752
負債合計	15,757,624	16,571,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	1,069,472	1,083,828
利益剰余金	19,015,440	19,960,713
自己株式	△609,731	△601,895
株主資本合計	20,303,081	21,270,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705,354	1,002,148
為替換算調整勘定	266,495	459,989
退職給付に係る調整累計額	2,851	△2,806
その他の包括利益累計額合計	974,700	1,459,330
非支配株主持分	406,832	461,529
純資産合計	21,684,615	23,191,406
負債純資産合計	37,442,239	39,762,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	32,961,322	37,052,601
売上原価	24,683,881	27,705,494
売上総利益	8,277,441	9,347,106
販売費及び一般管理費	5,944,780	6,551,757
営業利益	2,332,660	2,795,348
営業外収益		
受取利息	17,062	16,530
受取配当金	79,149	89,080
持分法による投資利益	15,166	55,962
不動産賃貸料	14,996	15,239
為替差益	188,812	131,048
投資事業組合運用益	16,170	-
その他	51,224	61,888
営業外収益合計	382,582	369,749
営業外費用		
支払利息	4,471	4,392
貸倒引当金繰入額	4,528	-
投資事業組合運用損	-	3,514
その他	9,538	7,530
営業外費用合計	18,538	15,437
経常利益	2,696,704	3,149,661
特別利益		
固定資産売却益	188	1,405
投資有価証券売却益	-	71,681
保険解約返戻金	-	9,689
特別利益合計	188	82,776
特別損失		
固定資産除却損	279	290
特別損失合計	279	290
税金等調整前四半期純利益	2,696,614	3,232,146
法人税等	825,565	997,332
四半期純利益	1,871,048	2,234,814
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,210	34,618
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,850,837	2,200,196

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,871,048	2,234,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,391	308,013
為替換算調整勘定	241,509	201,443
退職給付に係る調整額	△5,397	△5,658
持分法適用会社に対する持分相当額	1,083	2,229
その他の包括利益合計	301,586	506,027
四半期包括利益	2,172,635	2,740,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,142,696	2,684,826
非支配株主に係る四半期包括利益	29,938	56,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	工作機械	高機能材	環境
売上高							
外部顧客への 売上高	8,928,117	6,631,881	4,942,703	2,476,292	1,820,302	1,543,556	1,598,185
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,928,117	6,631,881	4,942,703	2,476,292	1,820,302	1,543,556	1,598,185
セグメント利益	905,057	780,822	369,380	224,747	227,452	153,065	112,922

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ	計				
売上高						
外部顧客への 売上高	577,648	28,518,687	4,442,635	32,961,322	—	32,961,322
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	577,648	28,518,687	4,442,635	32,961,322	—	32,961,322
セグメント利益	45,034	2,818,481	441,018	3,259,499	△926,838	2,332,660

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△926,838千円には、内部利益804,675千円、連結消去326,058千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費△2,057,571千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	工作機械	高機能材	環境
売上高							
外部顧客への 売上高	10,484,271	7,562,455	5,031,089	3,109,105	1,909,451	1,509,211	1,768,986
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,484,271	7,562,455	5,031,089	3,109,105	1,909,451	1,509,211	1,768,986
セグメント利益	1,243,691	1,005,629	317,885	306,089	174,675	179,193	176,404

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ	計				
売上高						
外部顧客への 売上高	658,488	32,033,059	5,019,541	37,052,601	—	37,052,601
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	658,488	32,033,059	5,019,541	37,052,601	—	37,052,601
セグメント利益	52,407	3,455,976	452,581	3,908,557	△1,113,209	2,795,348

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,113,209千円には、内部利益871,639千円、連結消去373,765千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費△2,358,615千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。